

HP iLO 3 リリースノート 1.50

HP 部品番号: 616296-196
2012 年 10 月
第 1 版



© Copyright 2012 Hewlett-Packard Development Company, L.P

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

説明

HP iLO 3 ファームウェアを使用すると、サーバーをリモートで設定、更新、および操作することができます。ブラウザベースのインターフェイスまたは RBSU で iLO3 を設定できます。詳しくは、『HP iLO 3 ユーザーガイド』を参照してください。多数のツールおよび構文が iLO 3 をサポートします。詳しくは、『HP iLO 3 スクリプティング/コマンドラインガイド』を参照してください。iLO 3 の一部の機能はライセンスが必要な機能であるため、オプションのライセンスを購入しないと使用できません。詳しくは、HP の Web サイト <http://www.hp.com/go/ilo/licensing>（英語）を参照してください。

アップデートに関する推奨事項

必須事項は、特にありません。

以下を差し替えます。

1.26

製品モデル

HP iLO 3

オペレーティングシステム

- Microsoft Windows 2008 R2
- Windows Server 2008 W32
- Microsoft Windows Server 2008
- Microsoft Windows Server 2003 R2
- Microsoft Windows Server 2003
- Windows Small Business Server 2003（ML300 シリーズ）
- Red Hat Enterprise Linux 5（x86、AMD64/EM64T）
- Red Hat Enterprise Linux 6（x86、AMD64/EM64T）
- SUSE Linux Enterprise Server 10（x86、AMD64/EM64T）
- SUSE Linux Enterprise Server 11（x86、AMD64/EM64T）
- VMware ESX/ESXi Server 4.0、4.1
- VMware ESX/ESXi Server 5.x

注記: HP iLO の OS、クライアント、ブラウザ、およびメモリサポートについては、次の Web サイトを参照してください。<http://www.hp.com/go/compareilo>（英語）

HP ProLiant サーバーの OS および仮想化ソフトウェアサポートについては、次の Web サイトを参照してください。<http://www.hp.com/go/supportos>（英語）

ブラウザ要件

iLO の Web インターフェイスを実行するために、以下のブラウザがサポートされています。

- Internet Explorer 7、8、9
- Firefox ESR 10
- Chrome

iLO 4 の Web インターフェイスを使用する場合は、以下の設定を有効にする必要があります。

- **[JavaScript]** - このアプリケーションは、クライアント側の JavaScript を広範囲で使用します。

- **[Cookies]** - 一部の機能が正常に動作するために、Cookie を有効にする必要があります。
- **[ポップアップウィンドウ]** - 一部の機能が正常に動作するために、ポップアップウィンドウを有効にする必要があります。ポップアップブロックが無効になっていることを確認してください。

サポートされるデバイス

- HP ProLiant ML110 G7
- HP ProLiant DL120 G7
- HP ProLiant DL360 G7
- HP ProLiant DL380 G7
- HP ProLiant DL385 G7
- HP ProLiant DL580 G7
- HP ProLiant DL585 G7
- HP ProLiant BL490c G7
- HP ProLiant BL685c G7
- HP ProLiant BL680c G7
- HP ProLiant BL620c G7
- HP ProLiant BL465c G7
- HP ProLiant BL460c G7
- HP ProLiant BL2x220 G7
- HP ProLiant DL980 G7
- HP ProLiant SL390s G7
- HP ProLiant SL335s G7
- HP ProLiant SL4545 G7

拡張機能

このリリースでは、以下の拡張機能を使用できます。

- 設定可能なりモートコンソールホットキーのサポート
- インテグレートドマネジメントログの強化（iLO の Web インターフェイス）：
 - [クリティカル] または [警告] イベントのステータスを **[修正済み]** に変更する機能を追加
 - IML ログにメンテナンスノートを追加する機能を追加
- 専用ネットワーク接続に以下の IPv6 ネットワーク通信サポートを追加：
 - IPv6 静的アドレス割り当て
 - IPv6 SLAAC アドレス割り当て
 - IPv6 静的ルート割り当て
 - 統合リモートコンソール
 - OA SSO
 - Web サーバー

- SSH サーバー
- SNTP クライアント
- DDNS クライアント
- IPMI ベースのハードディスクドライブのヘルス監視を追加
- SHA256、SHA384、および SHA512 で署名済みの SSL 証明書を iLO 3 にインポート可能
- サポートされるすべてのブラウザで、ブラウザのタイトルバー/タブに iLO の DNS 名または IP アドレスを表示
- iLO イベントログおよびインテグレートドマネジメントログを深刻度で並べ替えて表示
- Simple Network Time Protocol が完全修飾ドメイン名および IPv6 をサポート
- SET_HOST_APO.XML が iLO ユーザー権限を使用
- iLO 3 の Web インターフェイスにブート順序ページを追加
- iLO 3 がリモートコンソールのホットキーをサポート
- インテグレートドマネジメントログ (iLO の Web インターフェイス) に以下の機能を追加：
 - [クリティカル] または [警告] イベントのステータスを [修正済み] に変更可能
 - IML ログにメンテナンスノートを追加可能
- iLO 3 1.50 は、以下の新しい XML スクリプトをサポートします。
 - Get_Asset_Tag.xml - 資産タグを表示します。
 - Set_Asset_Tag.xml - 資産タグを設定します。
 - Get_Security_Msg.xml - カスタマイズ可能なログインセキュリティバナーを表示します。
 - Set_Security_Msg.xml - カスタマイズ可能なログインセキュリティバナーを設定します。
 - Hotkey_Config.xml - TextCons/Java IRC の特殊機能キーを設定します。
 - Delete_SSH_Key.xml - SSH キーを削除します。
 - Cert_Request.xml - SSL カスタム証明書を要求します。
 - Get_FIPS_Status.xml - 現在の暗号化ステータスを表示します。
 - Set_FIPS_Enable.xml - 暗号化を有効にします。

iLO 3 1.50 では、以下のコマンドが更新されています。

- CERTIFICATE_SIGNING_REQUEST
- SET_ONE_TIME_BOOT
- HOLD_PWR_BTN
- MOD_NETWORK_SETTINGS
- MOD_DIR_CONFIG

これらのコマンドについて詳しくは、『HP iLO 3 スクリプティング/コマンドラインガイド』を参照してください。

修正点

iLO 3 ファームウェアバージョン 1.50 では、以下の問題が解決されています。

- SSH キーのインポートで、SSH キープロブ内のユーザー名の後に余分なスペースが入らなくなりました。
- ホストパワーセーバー効率モードが XML スクリプトと同期するようになりました。
- CLI のファン速度の DesiredSpeed フィールドにパーセント記号が必ず付くようになりました。
- リダンダント構成でいずれかのファンが動作を停止したとき、ファンの DesiredSpeed が 100 として正しく iLO に表示されるようになりました。
- DHCP を有効にすると、ネットワークタイムプロトコル (NTP) のタイムゾーンドロップボックスがアクティブにならなくなりました。
- 新しい SSL 証明書を追加しようとしたとき、次のエラーメッセージが表示されなくなりました。Error=400; Out of memory error in iLO
- e-brake を非アクティブにすると、iLO 電力メーターが正常に戻るようになりました。
- iLO の CLI で、DNS ドメイン名に無効な文字を入力できなくなりました。
- サーバーの再起動中に、iLO RBSU で IPMI の SOL (Serial over LAN) セッションの応答が停止しなくなりました。
- iLO の RIBCL で、パスワードに &、<、>、'、" のような特殊文字をデコードできるようになりました。
- Web サーバーの設定を変更したとき、iLO の応答が停止しなくなりました。
- ユーザー SSH キーを追加/削除しても、iLO に不適切なイベントログが生成されなくなりました。
- Windows クライアントで IPMIUTIL FRU コマンドを使用したとき、iLO が正しい資産タグ情報を表示するようになりました。
- iLO の Web インターフェイスで起動順序を変更するとき、Microsoft Internet Explorer 7.0 で矢印キーが正しく動作するようになりました。
- XML エントリーでコンピューターロック構成にサポートされていない文字を使用すると、iLO の Web インターフェイスで受け付けられなくなりました。
- DHCP 提供のタイムゾーンが、iLO が NTP サーバーから取得する時間に適用されるようになりました。
- iLO の Web インターフェイスの概要ページで、システムヘルス、サーバー電源、および UID に不明ステータスが表示されなくなりました。
- パスワードに「%」文字が含まれている場合でも、RIBCL がログインエラーで停止しなくなりました。
- 数値キーパッドがほとんどの場合に正しく動作するようになりました。
- Get_All_Languages.xml ファイルが CPQLOCFG で動作するようになりました。
- SID を無効なディレクトリで変更しても、iLO に「The Group SID is not valid」というエラーメッセージが表示されなくなりました。
- Microsoft Windows Server 2008 R2 を搭載する HP ProLiant BL460c G7、HP ProLiant Support Pack v8.60、および iLO 3 ドライバーバージョン 3.3.0.0 が、システムイベントログに HP iLO 3 ドライバーエラーをランダムに報告しなくなりました。
- iLO 3 ゲートウェイ IP アドレスが RBSU に 0.0.0.0 と表示されなくなりました。
- iLO 3 がランダムにチャンネルインターフェイスから応答しないことがなくなりました。
- iLO 3 が、件名に SerialNumber フィールドを含む、インポートされた SSL 証明書を破棄しなくなりました。

- 周囲温度が 0°C 以下に低下しても、iLO 3 がサーバーをシャットダウンしなくなりました。
- iLO 3 の NIC を無効にしても、HPSIM および SMH で iLO 3 にクリティカルエラーのマークが付かなくなりました。
- SOL (Serial over LAN) モードで iLO 3 経由で IPMI ツールを使用しようとする場合、「Send break」コマンドが正常に動作するようになりました。

前提条件

- 一部の iLO 3 機能は、iLO ライセンスパッケージの一部です。iLO ライセンスについて詳しくは、次の Web サイトを参照してください。<http://www.hp.com/go/ilo/licensing> (英語)。
- Java 統合リモートコンソールを使用するには、Java Runtime Environment, Standard Edition 1.4.2_13 以降をインストールする必要があります。
- .NET バージョンの統合リモートコンソールを使用するには、Microsoft .NET Framework 3.5 以降をインストールする必要があります。
- .NET 統合リモートコンソールは、.NET Framework の一部である Microsoft ClickOnce を使用して起動します。
 - Mozilla Firefox では、ClickOnce アプリケーションを起動するためにアドオンが必要です。Microsoft .NET Framework Assistant のような ClickOnce プラグインがあると、Mozilla Firefox のサポートされるバージョンから .NET IRC を起動できます。.NET Framework Assistant は、次の Web サイトからダウンロードできます。<https://addons.mozilla.org/ja-JP/firefox/addon/microsoft-net-framework-assist/>
 - Google Chrome では、ClickOnce アプリケーションを起動するためにアドオンが必要です。Chrome ブラウザー用の ClickOnce プラグインがあると、Chrome のサポートされるバージョンから .NET IRC を起動できます。このプラグインは、次の Web サイトからダウンロードできます。<http://code.google.com/p/clickonceforchrome/>

インストール手順

インストール手順については、次のマニュアルを参照してください。

『HP iLO 3 ユーザーガイド』

製品番号 : 616301-194

版数 : 1